

令和元年度 第4回

松川町地域公共交通対策協議会 次第

日時 令和2年3月17日(火) 午後3時00分

場所 松川町役場 2階 大会議室

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 協議事項

(1) デマンドタクシー中間報告について 〈P 3～P 8〉

(2) 住民からの通学定期券の無料化等を求める要望について 〈P 9〉

4. 閉 会

## 松川町地域公共交通対策協議会名簿

【敬称略・順不同】

所属団体等	役職	氏名	備考
松川町	町長	宮下 智博	会長
松川町社会福祉協議会	会長	水野 一昭	副会長
伊那バス株式会社	代表取締役	藤澤 洋二	
丸茂自動車有限会社	代表取締役	片桐 実	
大島地区代表	古町区長	中川 初俊	
上片桐地区代表(区長会長)	上片桐区長	大澤 今男	
生田地区代表	部奈区長	林 貞喜	
松川町商工会	会長	小澤 文人	
松川町女性団体連絡協議会	理事	宮島 和子	
松川町福祉を考える会	会長	原 節子	
国土交通省北陸信越運輸局 長野運輸支局	首席運輸企画 専門官	芦澤 千恵子	
長野県南信州地域振興局	局長	丹羽 克寿	
長野県飯田建設事務所	所長	丸山 義廣	
飯田警察署	署長	平賀 久則	
松川町建設課	課長	小沢 雅和	
伊那バス労働組合	自動車対策部長	唐木 達也	
松川町教育委員会	教育長	高坂 敏昭	

## 事務局

松川町副町長	久保 友二	幹事長
松川町まちづくり政策課長	小木曾 雅彦	事務局長
松川町まちづくり政策課リニア・公共交通係長	佐々木 保	事務局員
松川町まちづくり政策課リニア・公共交通係	河野 通祥	事務局員

## 松川町デマンドタクシー実証運行 中間報告

令和2年3月17日

### 1. 振り返り

第2回協議会で運行ルールの一部を修正しました。

- (1) 町中心部→生田地域方面への一方運行から双方向への運行としました。この結果、フルーツバス（定時定路線）から1便減便し、2便での運行（※）としました。
- (2) (1) にともない乗車ポイントを乗降ポイントとし、乗車・降車できるものとなりました。あわせて、町中心部のポイントを7か所から10か所に増やしました。

変更前		→	変更後		
社協前	中塚医院		社協前	中塚医院	七楯停留所
日赤病院	伊那大島駅		日赤病院	伊那大島駅	馬坂停留所
農協前	キラヤ前		農協前	キラヤ前	宮ヶ瀬停留所
役場前			役場前		

※定時定路線は3便（11:17発）、4便（13:40発）、5便（15:00発）の3便でしたが、デマンドタクシーはデマンド1便（11:30発）、デマンド2便（15:30発）となっています。

### 2. 実証運行概要

変更した運行ルールに基づき、令和2年1月6日（月）から6月30日（火）まで実証運行を行っています。

### 3. 利用者数

今回は、中間報告として1月、2月の登録者数、利用者数をまとめます。

平成30年度同時期の生田循環 峠部奈線、中山柄山線の合計利用者数と比較しています。

#### (1) 登録者数

令和2年末日時点の登録者数は、226人です。

(2) 総利用者数、便別利用者数

1月、2月の総利用者数は180名でした。平成30年度と比較すると231人減少しています。デマンドタクシー1便の利用者数は2月に増加していますが、デマンドタクシー2便は減少しています。

なお、方面別では町中心部→居住地の利用が177人、居住地→町中心部の利用は3人となっています。

図表1 便別定時定路線（フルーツバス）利用者数（平成30年度）と便別デマンドタクシー利用者数（令和元年度）の比較

平成30年度フルーツバス				令和元年度デマンドタクシー				
	1月	2月	合計		1月	2月	合計	
午前3便(11:17発)	91	88	179	→	デマンド1便(11:30発)	53	71	124
午後1便(13:40発)	31	31	62	→	デマンド2便(15:00発)	30	26	56
午後2便(15:00発)	73	97	170					
合計	195	216	411		合計	83	97	180

(単位：人)

※フルーツバスは峠部奈線と中山・柄山線の利用者を合わせた数値です。

※デマンドタクシー2便はフルーツバス午後1、2便の合計と比較しています。

(3) 1日あたりの利用者数

デマンドタクシーの1日あたりの利用者数は4.0人/日でした。平成30年度と比較すると4.9人/日減少しています。

図表2 定時定路線（フルーツバス）1日あたり利用者数（平成30年度）とデマンドタクシー1日あたり利用者数（令和元年度）の比較

平成30年度フルーツバス				令和元年度デマンドタクシー				
	1月	2月	合計		1月	2月	合計	
午前3便(11:17発)	4.0	3.8	3.9	→	デマンド1便(11:30発)	2.4	3.1	2.8
午後1便(13:40発)	1.3	1.3	1.3	→	デマンド2便(15:00発)	1.4	1.1	1.2
午後2便(15:00発)	3.2	4.2	3.7					
合計	8.5	9.4	8.9		合計	3.8	4.2	4.0

(単位：人/日)

※フルーツバスは峠部奈線と中山・柄山線の利用者を合わせた数値です。

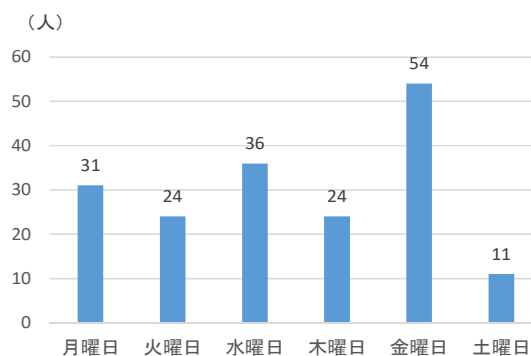
※デマンドタクシー2便はフルーツバス午後1、2便の合計と比較しています。

#### (4) 曜日別利用者数

曜日別にみると金曜日に利用者がもっとも多くなっています。もっとも少ないのは土曜日です。

図表 3 曜日別利用者数

	1月	2月	合計	割合
月曜日	10	21	31	17.2%
火曜日	15	9	24	13.3%
水曜日	18	18	36	20.0%
木曜日	10	14	24	13.3%
金曜日	25	29	54	30.0%
土曜日	5	6	11	6.1%
合計	83	97	180	100.0%



#### (5) 乗車場所別利用者数

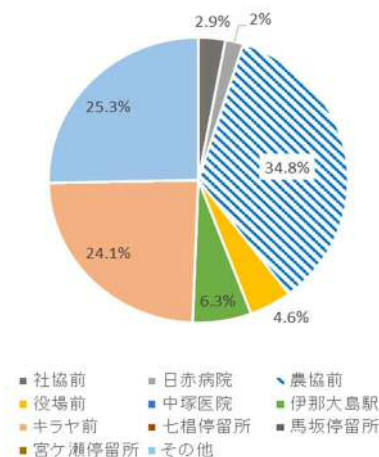
乗車場所別にみるとキラヤ前がもっとも多く、次いで農協前が続きます。

当初、想定していた通院帰りの利用（日赤病院、中塚医院からの利用）が10%未満となっています。

図表 4 乗車場所別利用者数（町中心部→居住地）

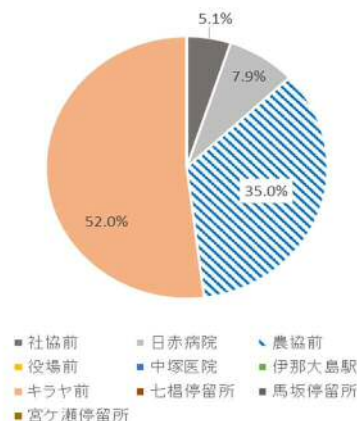
平成30年度フルーツバス

	1月	2月	合計	割合
社協前	4	8	12	2.9%
日赤病院	5	3	8	2%
農協前	61	82	143	34.8%
役場前	7	12	19	4.6%
中塚医院	0	0	0	0.0%
伊那大島駅	14	12	26	6.3%
キラヤ前	53	46	99	24.1%
七楯停留所	0	0	0	0.0%
馬坂停留所	0	0	0	0.0%
宮ヶ瀬停留所	0	0	0	0.0%
その他	51	53	104	25.3%
合計	195	216	411	100.0%



令和元年度デマンドタクシー

	1月	2月	合計	割合
社協前	3	6	9	5.1%
日赤病院	8	6	14	7.9%
農協前	28	34	62	35.0%
役場前	0	0	0	0.0%
中塚医院	0	0	0	0.0%
伊那大島駅	0	0	0	0.0%
キラヤ前	42	50	92	52.0%
七楯停留所	0	0	0	0.0%
馬坂停留所	0	0	0	0.0%
宮ヶ瀬停留所	0	0	0	0.0%
合計	81	96	177	100.0%



図表 5 乗車場所別利用者数（居住地→町中心部）

	1月	2月	合計
間沢	0	1	1
部奈	1	0	1
長峰	1	0	1
合計	2	1	3

利用者の実態

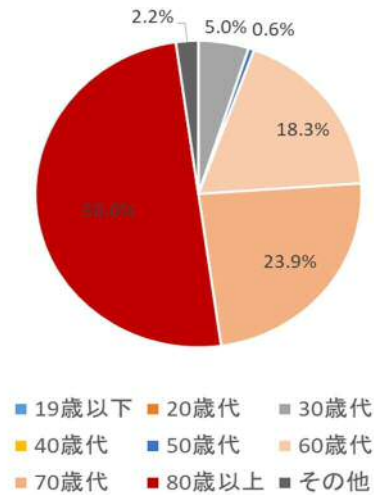
以下に、利用者の実態をまとめます。

① 年代別

利用者の年代は 60 歳以上が 90%以上を占めています。

図表 6 利用者の年代

	1月	2月	合計	割合
19歳以下	0	0	0	0.0%
20歳代	0	0	0	0.0%
30歳代	3	6	9	5.0%
40歳代	0	0	0	0.0%
50歳代	1	0	1	0.6%
60歳代	16	17	33	18.3%
70歳代	18	25	43	23.9%
80歳以上	43	47	90	50.0%
その他	2	2	4	2.2%
合計	83	97	180	100.0%



※その他…未登録で生田地区に住所がないが、生田地区の実家などへ行くために利用される場合

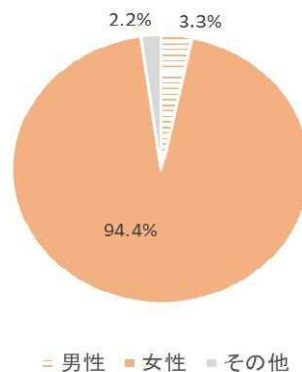
② 性別

利用者の性別をみると、ほぼ女性の利用で占められています。

女性は買い物などで出かけられる頻度が高いことや、免許を持っていない方が多くいるということが原因として上げられます。

図表 7 利用者の性別

	1月	2月	合計	割合
男性	2	4	6	3.3%
女性	79	91	170	94.4%
その他	2	2	4	2.2%
合計	83	97	180	100.0%



### ③ 居住地区

居住地区でみると、部奈、峠、中山、柄山の利用者が多くなっています。

図表 8 デマンドタクシーの利用者の居住地区

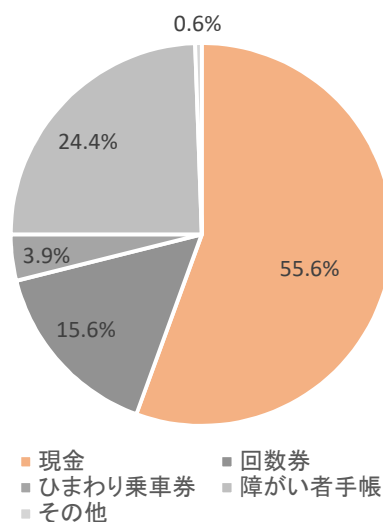


### ④ 支払方法

支払方法としては、現金がもっとも多くなっています。次いで、障がい者手帳、回数券と続きます。

図表 9 支払方法

	1月	2月	合計	割合
現金	51	49	100	55.6%
回数券	11	17	28	15.6%
ひまわり乗車券	1	6	7	3.9%
障がい者手帳	20	24	44	24.4%
その他	0	1	1	0.6%
合計	83	97	180	100.0%



#### 4. 利用者の意見

利用者に対する意向調査や事務局に寄せられた利用者の声のうち主なものを記します。

- ・乗降ポイントに清流苑を追加してほしい。
- ・路線バスとデマンドタクシーの接続が悪く、長時間待つことになる。
- ・1便と2便の間にもう1便増やしてほしい。
- ・予約の電話をするのがわずらわしい。
- ・行きのフルーツバスの車内でデマンド1便の当日予約ができるようにしてほしい
- ・これまで利用していた、生田循環を使つての主要施設間の移動ができなくなった。
- ・元の定時定路線に戻してほしい。

#### 5. 事業者との意見交換

- ・1月は始めたばかりということもあり利用者が減っていたが、最近では徐々に慣れてきたこともあるためか、もともとの利用者が戻ってきている。
- ・利用者からは、「今までバスの停留所までが遠くて大変だったからデマンドタクシーになって便利になった。助かっている。」といった声をいただいた。
- ・13時台の便がないため、生田地区への帰りが不便になったという声をいただいた。
- ・名子や新井地区の方から生田循環を使つての移動ができなくなり困っているといった声をいただいた。図表1で出ている利用者数の減少は、名子や新井地区の方たちが利用できなくなった部分が大きく表れている。

#### 6. 改善が必要と考えられる課題

3、4、5から、本格運行に移行する際に改善が必要と考えられる課題をまとめます。

- ・デマンドタクシーに慣れていない人が多いためか、フルーツバスに比べて利用者が少ない。
- ・生田地区から「清流苑」への行き帰りの移動手段。
- ・デマンドタクシー1便、2便の間が空いていること。
- ・名子・新井地区の方の移動手段の減少。

#### 7. 今後のスケジュール

3月 利用者に対する意向調査を実施

3、4月 自治会やサロンでの聞き取り調査を実施

4月 集計、今後の方針（案）を作成

5月 次回協議会で、今後のデマンドタクシーの運行について議論



## 住民からの通学定期券の無料化等を求める要望について

### 《要望①》

通学定期券を無料としてほしい。

### 《事務局方針》

- ・合併等の条件により、無料化としてきた経過はあるものの、全町的に統一を図る必要性は感じた。また、子育て支援の一貫として考えたとき、親の時間的、金銭的負担を軽減することを考慮し、無料化が可能かどうか検討していく。

### 《要望②》

現在、小中学生用通学定期券は大島・上片桐通学便のみでの取り扱いだが、コミュニティバス全便でも使用可能としてほしい。

### 《事務局方針》

- ・通常便と通学便ともに「まつかわフルーツバス」である。
- ・時短授業などにより通学便の時間が合わず利用ができない場合、大島区の子どもは通常便を利用するのが当然であると考え。定期券を所持していることから、その他の便も利用可とできることが妥当である。
- ・上記の点から、小中学生用通学定期券でも通常便の利用を可としたい。

定時定路線・デマンドタクシー比較表

月ごとの利用人数

1便あたりの利用人数

■生田循環(峠部奈線)

便名	年度	1月	2月
午前1	元	56	58
	30	71	86
午前2	元	30	41
	30	47	43
午前3	元		
	30	63	70
午後1	元		
	30	11	9
午後2	元		
	30	28	48
計	元	86	99
	30	220	256

C  
A  
B

便名	年度	1月	2月
午前1	元	5.1	5.3
	30	6.5	7.8
午前2	元	2.7	3.7
	30	4.3	3.9
午前3	元		
	30	5.7	6.4
午後1	元		
	30	1.0	0.8
午後2	元		
	30	2.5	4.4
平均	元	3.9	4.5
	30	4.0	4.7

■生田循環(中山柄山線)

便名	年度	1月	2月
午前1	元	34	34
	30	59	62
午前2	元	39	35
	30	47	50
午前3	元		
	30	28	18
午後1	元		
	30	20	22
午後2	元		
	30	45	49
計	元	73	69
	30	199	201

F  
D  
E

便名	年度	1月	2月
午前1	元	3.1	2.8
	30	4.9	5.2
午前2	元	3.5	2.9
	30	3.9	4.2
午前3	元		
	30	2.3	1.5
午後1	元		
	30	1.7	1.8
午後2	元		
	30	3.8	4.1
平均	元	3.3	2.9
	30	3.3	3.4

■生田循環(デマンドタクシー)

便名	年度	1月	2月
デマンド1便	元	53	71
デマンド2便	元	30	26
計	元	83	97

G

便名	年度	1月	2月
デマンド1	元	2.4	3.1
デマンド2	元	1.4	1.1
平均	元	1.9	2.1
比較 (廃止便平均)	30	2.8	3.2

	年度	1月	2月
全体比較	元	242	265
	30	419	457
	差	-177	-192

A+D+G  
B+E

	年度	1月	2月
全体平均	元	3.0	3.2
	30	3.7	4.0

	年度	1月	2月
廃止便と デマンド 便の比 較	元	83	97
	30	195	216
	差	-112	-119

G  
C+F

運行日数	年度	1月	2月
峠部奈線	元	11	11
	30	11	11
中山・柄山線	元	11	12
	30	12	12

